

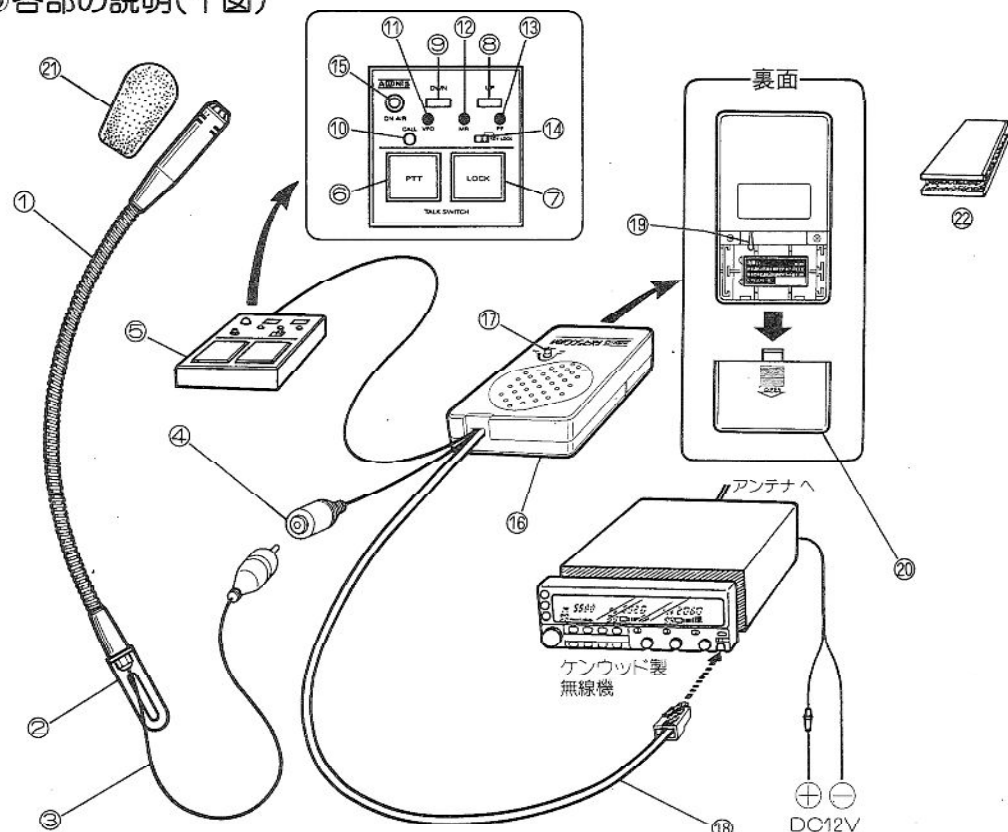
フレキシブル型モービルマイクロホン 取扱説明書

このたびは、アドニス電機のモービルマイクロホンFX-7500KMをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

このFX-7500KMは、無線機付属のリモコンマイクの機能の他に、警報音付無変調防止回路およびマイク出力調整機能を備えた、単一指向性高性能モービルマイクロホンです。モービル運用時の安全性を考慮し、送受信切替時には電子音で知らせます。また、PTTスイッチもフラット型を採用した為、ダッシュボードやコンソールなど取付け場所を選べます。

ご使用に際しましては、本機の性能を十分に発揮させていただく為この説明書をよくお読みいただき、末長くご愛用くださいますようお願い申し上げます。なお、この取扱説明書は保証書と共用になりますので、お読みになった後も大切に保管してください。

●各部の説明(1図)

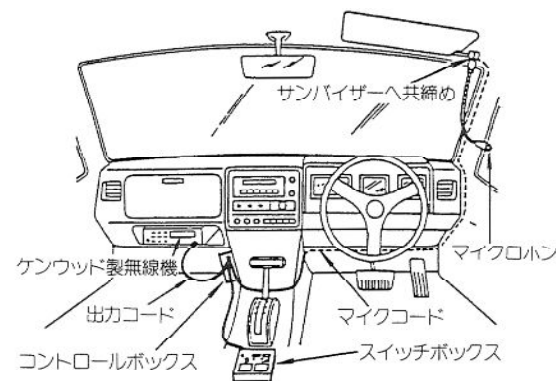


- | | | |
|---------------|---------------------|----------|
| ①フレキシブルマイク | ⑩VFOキー | — 付属品 — |
| ②止め金具 | ⑪MRキー | ①風防(青) |
| ③ピンプラグ付マイクコード | ⑫PFキー | ②マジックテープ |
| ④マイク入力ピンジャック | ⑬キーロックスイッチ | |
| ⑤スイッチボックス | ⑭送信表示ランプ(LED) | |
| ⑥PTTスイッチ | ⑮コントロールボックス | |
| ⑦LOCKスイッチ | ⑯出力調整ボリューム | |
| ⑧UPスイッチ | ⑰出力コード(8Pモジュラープラグ付) | |
| ⑨DOWNスイッチ | ⑱無変調防止回路解除リード線 | |
| ⑲CALLキー | ⑳裏布 | |

●取付方法および接続方法

- フレキシブルマイク①の止め金具②を、サンバイザーと共締めするか、適当な場所へ工夫して取付けてください。(風防①をフレキシブルマイク①に付けてご使用ください。)
- スイッチボックス⑤は、裏側の剝離紙をはがし、チェンジレバー付近など比較的操作のしやすい運転のさまたげにならない場所に貼り付けてください。(貼付部分の水分・油分・汚れをよく拭きとってから貼り付けてください。)
- コントロールボックス⑮から出ているマイク入力ピンジャック④に、ピンプラグ付マイクコード③を差し込んでください。
- 出力コード⑰を、使用する無線機に接続してください。
- コントロールボックス⑮は運転の妨げにならない場所に、付属のマジックテープ②を使用して固定してください。

●取付例(2図)



●ご使用方法

- PTTスイッチ⑥を押した瞬間に“ピッ”という音が出て、押している間だけ送信表示ランプ⑭が点灯し、送信状態になります。離すと受信状態に戻ります。ショートQSO時に使用すると便利です。また、LOCK(連続送信状態)を解除したい時に使用します。
- LOCKスイッチ⑦を押すと“ピー”という音が出て送信表示ランプ⑭が連続点灯し、連続送信状態になります。PTTスイッチ⑥を押して、離れた時に受信状態に戻ります。
- UPスイッチ⑧およびDOWNスイッチ⑨は、送信周波数、メモリーチャンネル、周波数ステップ、トーン周波数をアップまたはダウンさせるスイッチです。押し続けると連続して変化します。また、スキャンの方向が選択できます。(詳しくは、無線機の取扱説明書をお読みください。)
- CALLキー⑲、VFOキー⑩、MRキー⑪、およびPFキー⑫は、無線機本体の各キーと同じ動作をします。(詳しくは、無線機の取扱説明書をお読みください。)
- キーロックスイッチ⑬を“KEY LOCK”側にすると、PTTスイッチ⑥およびLOCKスイッチ⑦以外のすべてのキーは動作しなくなります。(無線機のキーはロックされません。)
- マイク部の先端から口元までの距離が10cm以内になるようにしてご使用ください。
- 出力レベルの設定は、適正なレベルになるように調整されていますが、変調が深すぎたり浅すぎたりする場合には、下記の要領にて適正なレベルになるように調整してください。
出力調整ボリューム⑰を右(時計回り)に回すと出力は増加し、左(反時計回り)に回すと減少します。
ローカル局にモニターしてもらいながら、3図に表示してある回転範囲をマイナスドライバーで静かに回して調整してください。
(左右に約90度しか回りません。)
回し過ぎると、破損する恐れがありますので十分注意してください。
なお、図の位置でほぼ中央になります。



(3図)

●無変調防止回路について

LOCKスイッチ⑦が不用意に作動した場合、または通常の交信においても、送信状態が約2~3分間続けばアラーム回路が作動し、警報音が約30秒間鳴った後、自動的に受信状態に戻ります。警報音を止めて続けて送信したい場合は、もう一度LOCKスイッチ⑦を押してください。

●無変調防止回路を解除したいとき

無変調防止回路を解除したいときは、無変調防止回路解除リード線⑱を切断してください。

●回り込み対策について

ローパワーで送信すれば正常であるのに、ハイパワーで送信した場合変調が異常になったりバリバリという音が混入したり、その他の雑音(マイクに直接入るエンジン音ではありません)が増すことがあります。その場合アンテナと同軸ケーブルとの整合が悪く、定在波がマイクコードに乗っていることが考えられます。したがって、マイクコードの引き回し方を変えると良くなる場合があります。特にマイクコードを同軸ケーブルと平行にしないようにしてください。また、アンテナと送信機とのSWRをチェックしてみてください。

●ご注意とお願い

- 故障の原因となりますので、マイク部には強い衝撃を与えないでください。
- 直射日光の当たる場所や高温になる場所での使用および放置は、変形・変質を招き本機に悪い影響を与えますので工夫して高温を避けるようにしてください。
- 本体内部は調整されていますので、不要な改造・調整はしないでください。
- 性能改善の為、予告なく仕様およびデザイン等を変更する場合があります。

●アフターサービスについて

お買い上げいただきました製品は、厳重な品質管理のもとに生産されておりますが、万一運搬中の事故などに伴い、ご不審な箇所、または破損などのトラブルがありましたら、お早めにお買い上げいただきました販売店、または弊社に保証書を添えてお申しつけくださいますようお願い申し上げます。